

博士後期課程 専攻紹介

- ▶工学専攻
- ▶共同ナノメディシン科学専攻
- ▶名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻
- ▶名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学 国際連携エネルギー変換システム専攻

各専攻紹介
QRコード



経済的支援

イノベーション創出のためには博士人材の活躍を一層促進させる必要があるとの認識のもと、博士後期課程の学生は学費値上げの対象外とし、本学独自の「博士全力サポートプラン」など、様々な経済的支援制度を用意しています。

各制度・問合せ先等一覧

制度名等	制度概要等QRコード	担当課	問合せ先
1 特別研究員制度		研究支援課	k-kyoufrontier@adm.nitech.ac.jp
2 特定助手・名工大DC制度		学務課	ingakumu@adm.nitech.ac.jp
3 次世代研究者挑戦的研究プログラム		学務課	gakumu-kikaku@adm.nitech.ac.jp
2 リンナイ奨学財団奨学生		学生生活課	shogaku@adm.nitech.ac.jp
1 入学料・授業料免除		学務課	ingakumu@adm.nitech.ac.jp
TA制度		研究支援課	k-kyoufrontier@adm.nitech.ac.jp
2 RA制度			
3 日本学生支援機構による奨学金		学生生活課	shogaku@adm.nitech.ac.jp
4 名古屋工業大学基金			
名古屋工業大学基金 博士後期課程学生修学支援事業			
ひとつくり未来基金修学支援事業			
5 その他経済的支援			

●本パンフレットは2025年12月現在の情報をもとに作成しています。

トランスファラブルスキル 養成ワークショップ (DGAワークショップ)

社会で
活躍するための
幅広い
汎用的な能力を
全力サポート

博士後期課程在学中に 「スキル」を磨こう!!

2026年
4月開設



トランスファラブルスキル

トランスファラブルスキル(Transferable Skills)とは「移転可能なスキル」という意味で、産業界をはじめ各界で即戦力となるためのビジネス素養の一つとして、重要なスキルと認識されています。

特に博士後期課程学生においては、自身の専門分野などの研究スキルの拡張だけでなく、研究を超えたビジネス面でも有効に活用することができるスキルです。

社会で求められる素養

研究面におけるスキル

卓越した専門知識、研究遂行能力
→各専攻・分野の博士後期課程で究める。

産業界で有効に活用できるスキル

トランスファラブルスキル
→DGAワークショップを受講し、修得する。

トランスファラブルスキル養成ワークショップ(DGAワークショップ)

高度イノベーション人材の育成に関して、企業ニーズをもとに、名古屋工業会(全学同窓会)、愛知県・STATION Ai(オープンイノベーション拠点)などと、協同した実践的プログラムを提供します。

右下図は、今回提供するスキルの相関関係を示したものです。

ワークショップは、下記6つのスキル(10:00-17:00など各1日間の講究と課題の達成)から構成されます。

SKILL 1 課題形成力

問題を解決するのに必要な技術を見つけ、解決に導く流れを構築する能力を養う。

SKILL 2 金融・財務

資金管理や資金源の創出法を理解し、財務諸表の構造を読み解く能力を養う。

SKILL 3 デザイン思考

右脳的思考法で顧客視点を磨き、製品競争力を高める能力を養う。

SKILL 4 プロジェクトマネジメント力

目標達成に向けてメンバーと共にプロジェクトを運営する能力を養う。

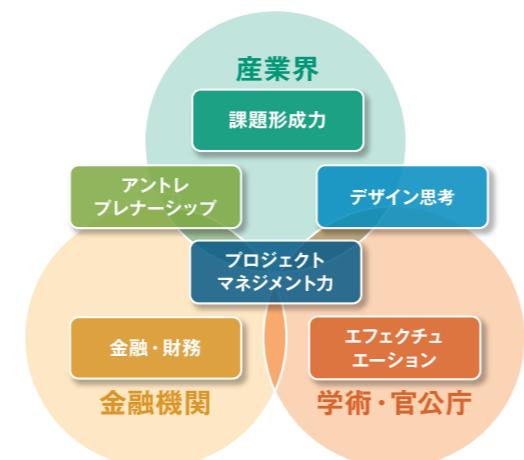
SKILL 5 アントレプレナーシップ

ある意図や目的の実現に向け革新的、意欲的に行動する能力を養う。

SKILL 6 エフェクチュエーション

手段主導の行動やマイナスのプラス転換など社会参画の応用力を養う。

産学官金協同の実践的スキル



オープンバッジ(修得証明書)

全スキルに合格*した学生には、マイクロクレデンシャルを取り入れ、DGAワークショップにその証明として「オープンバッジ」を導入し、学生自身のスキルのPR、モチベーション向上に繋げます。また修了認定として、オープンバッジの外、修得証明書を発行し、学生自身の苦手なスキルの克服に役立ててもらいます。

*評価は5段階で合格は3以上、単なる受講では合格とはしません。質の保証を担保します。

成績評価の基準

5:達成目標を超えた成果を上げている	100~90点
4:達成目標に十分に達している	89~80点
3:達成目標に達している	79~70点
2:達成目標に概ね達している	69~60点
1:達成目標に達していない	59点以下



オープンバッジイメージ案



修得証明書案

講師陣からのメッセージ

SKILL スキル 1



株式会社デンソー
佐藤 英明(博士)

博士後期課程で学ぶ専門性(研究面におけるスキル)に加え、物事の本質を見抜く力、正しい解決法を構築できる力が必要です。

ニーズ(問題)の本質を理解し、解決に向かうための要因に分解(ブレークダウン)し、それぞれのブレークスルーを可能にするシーズ技術を自ら見つけ出すために必要な考え方、手法を学びませんか。

SKILL スキル 3



アジナセレクト
林 俊秀

現代は、新技術や高品質だけでは消費者の心をつかめない時代となり、「デザイン思考」が強く求められています。ユーザーが本当に望む価値を起点に、潜在的なニーズや課題を深く理解し、企業が持つ独自技術や差別化技術と結びつけることで、製品・サービスの競争力を高める具体的かつ実践的なヒントを学びませんか。

SKILL スキル 4



トヨタ自動車株式会社
鈴木 浩佳

様々なプロジェクトを成功に導くためには、個人のがんばりだけでは不十分です。チームの仲間と目的・目標を共有し、同じ志のもとで役割を分担し、実現可能かつリスクにも備えた計画を立案、その上で都度発生する問題の解決に全員で果敢に挑むことが必要です。そのようなプロジェクトマネジメントのエッセンスをともに学びませんか。

各界からのメッセージ

(全学同窓会)名古屋工業会



理事長
横山 裕行様

従来のアカデミアに軸足を置いた博士(ドクター)に加え、高い専門知識を駆使しつつITを始めとする周辺技術も幅広く習得、更に課題創造、達成に向けたマネジメント能力も備えたスーパーエンジニア(新たな博士像)を育成することが更なる技術進化の鍵だと思っています。皆さんの成長を期待すると共に同窓会としてもしっかりサポートしていきます。

中部経済連合会



専務理事
平松 岳人様

産業界が博士人材に求めるのは、専門領域における高いスキルを実社会に落とし込む社会実装力です。「技術で勝つてビジネスで負ける」ことのないよう、専門性を高めるとともに、社会ニーズを迅速・的確に把握し、デザイン思考、マネジメント力および財務的感覚に磨きをかけ、日本ひいては世界を牽引するリーダーとなることを期待しています。

中部経済同友会



専務理事
田中 喜好様

VUCAの時代、変化が激しく予測困難な環境に適応できる人材が求められています。固定的な思考では通用しない場面が増え、新たな課題に順応できる能力が不可欠です。特に、変化に対応する戦略的スキル、適切な意思決定を行う力や組織を率いる変革型リーダーシップが重要です。トランスファラブルスキルは、これらの会得に大いに役立つでしょう。

博士後期課程 専攻紹介

工学専攻

共同ナノメディシン科学専攻

名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報学専攻

名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学 国際連携エネルギー変換システム専攻

各専攻紹介
QRコード



各制度・問合せ先等一覧

制度名等	制度概要等QRコード	担当課	問合せ先
1 特別研究員制度		研究支援課	k-kyoufrontier@adm.nitech.ac.jp
2 特定助手・名工大DC制度		学務課	gakumu-kikaku@adm.nitech.ac.jp
3 次世代研究者挑戦的研究プログラム		学務課	gakumu-kikaku@adm.nitech.ac.jp
4 リンナイ奨学財団奨学生		学生生活課	shogaku@adm.nitech.ac.jp
1 入学料・授業料免除		学務課	ingakumu@adm.nitech.ac.jp
TA制度		研究支援課	k-kyoufrontier@adm.nitech.ac.jp
2 RA制度		学生生活課	shogaku@adm.nitech.ac.jp
3 日本学生支援機構による奨学金			
4 名古屋工業大学基金			
名古屋工業大学基金 博士後期課程学生修学支援事業			
ひとつくり未来基金修学支援事業			
5 その他経済的支援			

●本パンフレットは2024年11月現在の情報をもとに作成しています。

未来の領域へ挑め！あなたの好奇心が世界を動かす



「博士」は国際的に通用する最上位の学位です。

博士を取得した者は工学分野を深く知る人物として信頼され、
キャリアアップやビジネスチャンスの可能性を拓げることにもつながります。

名古屋工業大学は、あなたの未来に投資し、あなたの挑戦を**全力でサポート**します。
もっと知りたい、もっと挑戦したい。博士後期課程がその答えです。

「博士」になろう！

新しい
支援プラン
登場！

日本学術振興会特別研究員(DC)制度と連動した
 全力サポートプラン(経済的支援)
 「特定助手」呼称付与

「博士」になろう！—博士後期課程を目指すみなさんへ—

経済的支援制度

■DC/名工大DC/次世代/リンナイの申請・採用スケジュール

課程	M2												D1												D2			D3		
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~3	4~3					
1 特別研究員(DC1)	申請					採用内定	→					採用	→																	
												申請					採用内定	→				採用	→							
2 特定助手									決定			採用																		
								決定			採用																			
3 次世代研究者挑戦的研究プログラム					申請	決定	申請	決定				採用																		
4 リンナイ奨学財団奨学生					申請	決定	申請	決定				採用																		

1 日本学術振興会による特別研究員制度

大学院博士後期課程在学者で、優れた研究能力を有し、本学で研究に専念することを希望する者を「特別研究員(DC)」に採用し研究奨励金を支給する制度です。なお、特別研究員には、科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)の助成を受けることが可能であり、科学研究費委員会の審査を経て、毎年度最大150万円の研究費が交付されます。

	期間	経済支援
特別研究員DC1	3年間	研究奨励費 240万円/年
特別研究員DC2	2年間	研究奨励費 240万円/年

2 本学初！特定助手・名工大DC制度(新設)

名古屋工業大学において、博士後期課程に進学し、日本学術振興会の特別研究員に申請した学生に経済的な支援をする、本学初の画期的な制度です。

✓ 特別研究員に採用された学生への支援

- ・本学で「特定助手」という呼称を付与し、研究者としてのステータスを確立します。
- ・年間160万円の経済的な支援をします。

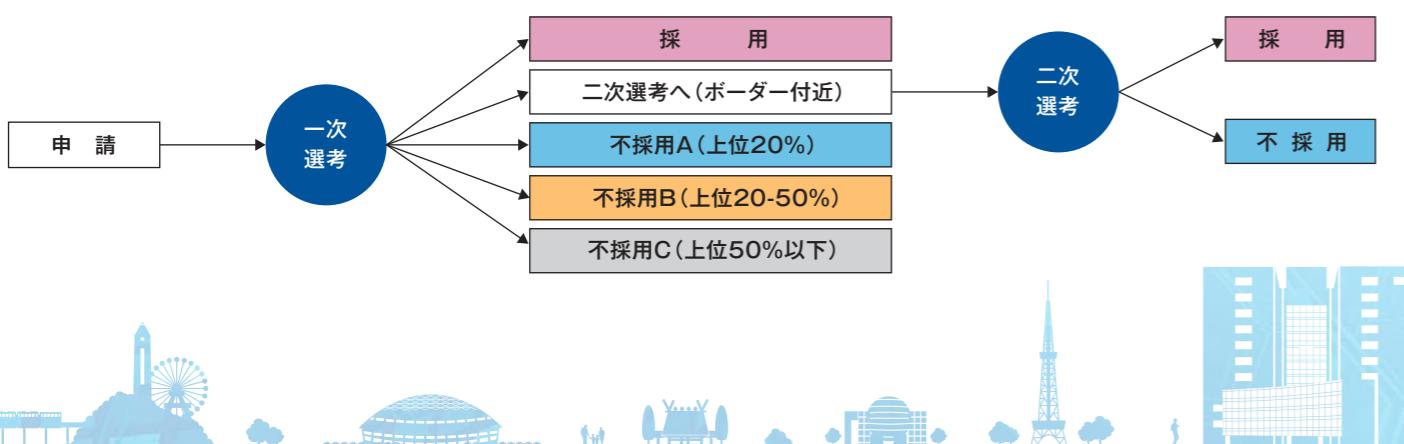
✓ 特別研究員に不採用だった学生への支援

- ・一定以上の結果を得た学生を対象として年間40万円又は80万円の経済的な支援をします。

全力サポートプラン (経済的支援)

	特別研究員採用者	特別研究員不採用者		
		二次選考 or 一次選考不採用A・名工大DC	一次選考不採用B・名工大準DC	採用
支援額	160万円/年	80万円/年	40万円/年	
支援期間	特別研究員採用期間	申請の翌年度のみ	申請の翌年度のみ	
雇用・呼称	非常勤研究員・特定助手	なし	なし	

■参考:日本学術振興会特別研究員選考過程



名古屋工業大学は、博士を志す学生を様々な経済的支援制度で全力サポート！

経済的支援制度を活用し、博士後期課程への扉を開きましょう！

3 次世代研究者挑戦的研究プログラム

本プログラムは、博士後期課程学生による挑戦的・融合的な研究を支援し、優秀な博士人材が様々なキャリアで活躍できるように研究力の向上や研究者としての能力の開発を促す事業です。科学技術振興機構は、研究に専念できるよう研究奨励費を支給する他、研究費やキャリア開発・育成コンテンツ費として最大74万円を配分します。

プロジェクト期間	支援期間	経済的支援
2021年度～(終期末定)	3年間(標準修業年限内)	研究奨励費 216万円/年

4 リンナイ奨学財団奨学生

学力が優秀かつ、経済的支援が必要と公益財団法人リンナイ奨学財団が認めた学生を奨学生として採用し、以下の給付型奨学金を支給するものです。

支援期間	経済支援
3年間	240万円/年

併願・併給について

	併願	併給
DC×特定助手	○	○
DC×次世代	○	×
DC×リンナイ	×	×
名工大DC・準DC×次世代	○	○
特定助手×リンナイ	×	×
名工大DC・準DC×リンナイ	×	×
次世代×リンナイ	×	×

その他の経済的支援制度

1 入学料・授業料免除

成績優秀で、かつ、経済的理由により納付が困難な場合、本人の申請に基づき選考により入学料、授業料を免除する制度があります。

2 TA/RA制度

優秀な大学院学生に対し、TA/RA制度があり、その業務補助に対する給与を支払い、経済的支援を行います。
(TA/RAとも博士後期課程学生の時給1,600円)

TA(ティーチング・アシスタント)	教育補助業務を行う制度
RA(リサーチ・アシスタント)	研究補助業務を行う制度

3 日本学生支援機構による奨学金

この奨学金は貸与型奨学金で、第一種奨学金は無利子、第二種奨学金は有利子となっています。

第一種奨学金には学業優秀な大学院学生を対象にした「返還免除制度」があり、博士後期課程の学生向けには、入学年度に、採用候補者を選考する、「返還免除候補者の内定制度」もあります。

4 名古屋工業大学基金

■名古屋工業大学基金博士後期課程学生修学支援事業

授業料免除の資格を有するにも関わらず、申請者多数等の理由から免除不許可となった博士後期課程学生に対し、授業料免除相当額を給付する制度です。

■ひとつくり未来基金修学支援事業

入学料免除を申請した学生のうち、申請者多数等の理由から免除対象者とならなかった入学料全額免除適格者に対し、入学料半額相当額を給付する制度です。

5 その他

大学の推薦が不要の自由応募(直接申請可能)奨学金と、大学の推薦を必要とする給付型又は貸与型奨学金があります。

小畠学長メッセージ

博士号は世界で活動するための強力なライセンスです。
わたしたちは皆さんの博士号取得を全力で支援します！

